



藤本 みのる 通信

Vol 395

2022年8月30日発行

大月市議会議員



自宅 大月市猿橋町小篠 8 5 3

電話/FAX 0 5 5 4 - 5 6 - 7 2 7 2

大月市の財政健全化判断比率が改善

令和 3 (2021) 年度決算資料が、大月市議会 9 月定例会を前に配布されました。特徴は、大月市の財政健全化判断比率が大きく改善していることです。2017 年度決算で大月市の実質公債費比率が 18% を超えたことから、「第二の夕張になるのでは」と財政危機が心配されましたが、この 2 年半、コロナ禍で大規模事業が先送りされたこと、コロナ対策費は国が数度にわたり臨時交付金を支給したこと、逆に巣ごもり需要で全国的に「ふるさと納税」が増大したことなどで、大月市の財政は改善しました。

物価高が続くもと、今後の課題は、市民の所得向上策と福祉施策の充実です。人口減少もみすえ、大規模投資は慎重に対応することです。

基金の運用状況 (決算資料より)

財政調整基金

2020 年度末	2021 年度末
約 7 億 9 千万円 (10%)	約 12 億 7 千万円 (16%)

財政調整基金は標準財政規模の 10% が目安とされていますが、大月市では 20% をめざしています

公共施設整備基金

2020 年度末	2021 年度末
約 6 億 5 千万円	約 11 億 3 千万円

基金の全体は、前年比 9 億 3 千万円増です。

大月市の

財政健全化判断比率の状況

①実質公債費比率

「18%」を超えると、市債を発行するときに国の許可が必要に。早期健全化基準 (イエロカード) は 25%

②将来負担比率

早期健全化基準 (イエロカード) は 350%

平成 28 (2016) 年度

①17.8% ②161.2%

平成 29 (2017) 年度

①18.3% ②157.1%

平成 30 (2018) 年度

①17.7% ②146.5%

令和元 (2019) 年度

①16.7% ②130.0%

令和 2 (2020) 年度

①15.3% ②104.0%

令和 3 (2021) 年度

①14.5% ②86.8%

【藤本みのる活動日誌】

8月25日(木)議会運営委員会(9月1日定例会開会)